

# 「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

## 学力向上目標

- ① 『さいたま市GIGAスクール構想』によるICTを活用した「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を推進し、児童の学習意欲を高め基礎学力を付け、単元毎テストで平均正答率80%をめざす。
- ② さいたま市学習状況調査の「国語の授業では、目的に応じて自分の文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしている。」の項目において、同一集団を比べ、肯定的な回答をする児童の割合を増加させる。
- ③ 小・中一貫教育をより深めるため、学校間の連携を取り、高学年完全教科担任制により、教育の質を高めることで児童が学習主体的に取り組める環境をつくり、学校評価の「学校の勉強に取り組んでいます。」で、昨年度より肯定的な回答をする児童の割合を増加させる。

## 具体的な手立て

- ① タブレット型端末等を使った授業実践を行い、効果のある使用方法を学校全体で共有し、児童の学習意欲を高めるために、エバンジェリストを中心に教師のICT活用能力の向上を図る。
- ② どの授業においても、自分で感想や考える時間を確保し、よい考え方や感想を共有する。
- ③ 魅力ある授業で、児童のやる気を高めるために、小・中で研修会を設け、教師の授業力をつけ学習内容の理解度・定着度の向上を図る。

## 結果

- ① ICTを積極的に活用したことで、児童の学習意欲が高まったことで、単元毎テストの平均正答率が、80%を超えることができた。
- ② さいたま市学習状況調査の国語の授業の項目で、同一集団において、肯定的な回答をする児童の割合が増加した。
- ③ 小・中学校の連携を深め、教育の質を高める環境づくりの推進により、99%という高い割合の児童が、「学校の勉強に取り組んでいます。」と回答した。

## 今年度の振り返り・次年度に向けて

本校における高学年完全教科担任制は、年度当初に様々な課題があった。その課題解消・解決に向け、組織全体で1つ1つ取り組んだ結果、高い学習効果と学習に対する意欲向上に繋がった。

来年度は、高学年教科担任制のよさをさらに広げ、中学年でも取り組める実践を段階的に行っていく。学校全体で小学校における教科担任制の推進を図っていく。